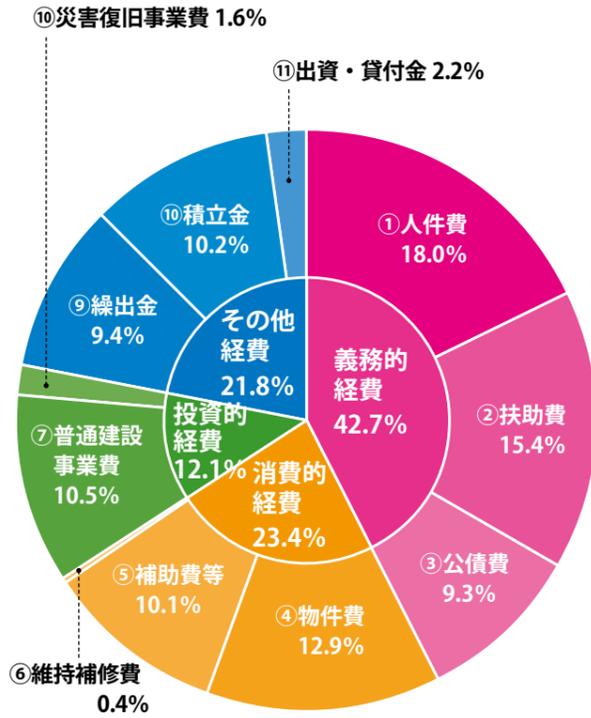


# 一般会計歳出総額

113億4200万円



**[Point]**  
骨格予算となりますが、各事業の成果に重点を置いて、予算の質を高めることで財政運営の健全化を図りつつ、市民の皆様の安心・安全に係るインフラ整備、かごしま国体に関連する事業費を優先して予算編成をしています。垂水小学校屋内運動場長寿命化改良工事等の大型事業が継続事業であったことに加え、消防救急デジタル無線設備更新事業および燃ゆる感動かごしま国体開催経費等がありますが、前年度に比べ1.6%減の113億4,200万円となっております。

- ※義務的経費 支出が義務付けられている経費
- ※消費的経費 形を残さない性質の経費
- ※投資的経費 公共事業費や国・県等の公共事業の負担額

**義務的経費 48億4,409万4千円 (42.7%)**

① 人件費	20億3,640万6千円	18.0%
市の職員の給与や退職金の費用、共済費		
② 扶助費	17億4,497万7千円	15.4%
社会保障制度に基づく経費など		
③ 公債費	10億6,271万1千円	9.3%
市債元金の償還と利子の支払いに必要な経費		

**消費的経費 26億5,767万9千円 (23.4%)**

④ 物件費	14億6,240万5千円	12.9%
人件費・扶助費を除く、消費的な費用		
⑤ 補助費等	11億4,382万4千円	10.1%
団体等を補助するために交付する費用など		
⑥ 維持補修費	5,145万円	0.4%
公用施設等を維持する費用		

**投資的経費 13億7,184万円 (12.1%)**

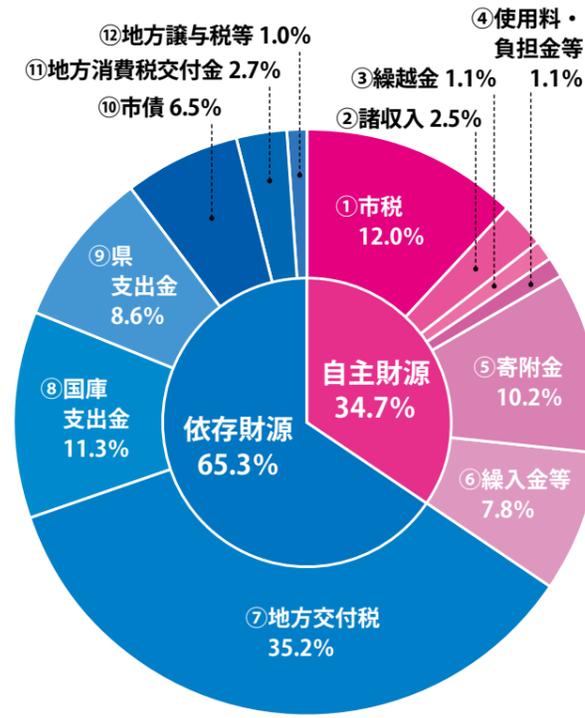
⑦ 普通建設事業費	11億9,348万7千円	10.5%
道路の新設や小中学校の改築などの費用		
⑧ 災害復旧事業費	1億7,835万3千円	1.6%
災害がおきた際に原状復帰のために用いる費用など		

**その他経費 24億6,838万7千円 (21.8%)**

⑨ 繰出金	10億6,423万2千円	9.4%
一般会計から特別会計等へ支出される費用など		
⑩ 積立金	11億5,315万5千円	10.2%
基金等に積み立てるための費用		
⑪ 出資・貸付金	2億5,100万円	2.2%
水産・畜産振興資金の貸付金など		

# 一般会計歳入総額

113億4,200万円



**[Point]**  
市税は、固定資産税、たばこ税等の増収が見込まれることから、13億6,034万9千円(+1.8%)を計上し、本市歳入の柱である地方交付税は、国の地方財政計画を参考に39億8,670万円(±0)を計上しています。また、市債は、垂水小学校屋内運動場長寿命化改良工事等、7億3,790万円(-4.2%)を借入れる予定です。なお、ふるさと応援寄附金については、寄附見込額として11億5千万円、ふるさと納税事業に係る返礼品、事務費等とふるさと応援基金充当事業に対する繰入金として8億6,622万6千円を予算化しています。

- ※自主財源 市が自ら徴収又は収納できる財源
- ※依存財源 国や県からの交付金等や借入れによる財源

**自主財源 39億3,313万6千円 (34.7%)**

① 市税	13億6,034万9千円	12.0%
市民税・固定資産税・入湯税・たばこ税・軽自動車税		
② 諸収入	2億8,039万円	2.5%
市の預金利子や各種貸付金の元利収入など		
③ 繰越金	1億2,000万円	1.1%
前年度から繰り越されたお金		
④ 使用料・負担金等	1億2,979万9千円	1.1%
市営住宅の家賃や保育所・老人施設の入所負担金など		
⑤ 寄附金	11億5,300万2千円	10.2%
ふるさと応援寄附金など		
⑥ 繰入金等	8億8,959万6千円	7.8%
基金や特別会計などから繰り入れたお金など		

**依存財源 74億886万4千円 (65.3%)**

⑦ 地方交付税	39億8,670万円	35.2%
一定の基準により国から交付されたお金		
⑧ 国庫支出金	12億8,415万9千円	11.3%
市の特定事業に対して、国から交付されたお金		
⑨ 県支出金	9億7,863万3千円	8.6%
市の特定事業に対して、県から交付されたお金		
⑩ 市債	7億3,790万円	6.5%
市が行う公共事業などの財源として、国や金融機関から借りたお金		
⑪ 地方消費税交付金	3億円	2.7%
地方消費税の一部を、人口等で按分されて国から交付されたお金		
⑫ 地方譲与税等	1億2,147万2千円	1.0%
国税として徴収され、そのまま国から市へ与えられた税金など		

## まとめ

市の予算は、これまでの一般会計に加え、国民健康保険や地方卸売市場等の7特別会計と水道事業及び病院事業の2事業会計から構成されています。財政運営においては、ふるさと応援寄附金等による歳入確保、定員適正化計画等による人件費の抑制等を進めることで財務諸表等の数値は概ね改善されてきました。

しかしながら、本市の財政状況は、地方交付税をはじめとする依存財源の割合が大きく、国の状況で財政運営が左右される脆弱な財政構造から脱していないため、今後も弾力的で足腰の強い財政構造を構築し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。

## 市民一人あたりの当初予算

835,753円

※令和5年2月末時点の人口13,571人で計算

令和5年度一般会計当初予算の113億4,200万円という数字をイメージしやすいように、市民のみなさん一人あたりに相当する歳出額(支出する金額)を算出しました。

今年度は、835,753円/人で昨年度の820,873円/人より、14,880円の増額となりました。